公開可・否公開時期 (1) 定議後の記者会見 2()

平成27年2月27日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名

付議区分	審議
付議事項	「つくば市障害福祉計画(第4期)」の策定について
事案要旨	1 趣旨 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第88条の規 定に基づき,国の基本指針に即して,平成27年度から平成29年度までの3年 間における,つくば市の障害福祉サービス,相談支援及び地域生活支援事業 の提供体制を確保するために定めたつくば市障害福祉計画(第4期)を策定 する。 2 策定の経過
	平成26年2月~平成27年1月 つくば市障害者計画策定懇談会の開催 (7回) 平成26年8月 障害者手帳所持者等へのアンケート調査及び福祉団体への ヒアリング調査の実施 平成26年12月 パブリックコメント実施 募集期間 平成26年12月1日~平成27年1月5日(36日間) 実施結果 意見提出3名13件,原案修正1件
	3 今後の予定 本庁舎1階情報コーナー,障害福祉課,各窓口センター,各地域交流センター,市ホームページ及び広報つくば(4月号)において,パブリックコメント実施結果及び本計画を公表する。

 公 開 可 ・ 否

 公開時期 1 所議後の記者会見 2()

平成27年2月27日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名

福祉部 高齢福祉課 審議 付議区分 「つくば市高齢者福祉計画(第6期)」の策定について 付議事項 事案要旨 1 趣旨 老人福祉法第20条の8及び介護保険法第117条に基づき、団塊の世代が75 歳以上となる平成37年を見据え、住まい・生活支援・予防・介護・医療の5 つの要素を踏まえた地域包括ケアシステムの構築を推進するため、平成27年 度から平成29年度までの3か年の高齢者施策全般の方針等を定めたつくば市 高齢者福祉計画(第6期)を策定する。 2 策定の経過 平成25年10月~平成27年1月 つくば市高齢者福祉推進会議の開催 (8回) 平成26年2月 要介護認定者,一般高齢者,第2号被保険者,ケアマネジ ャーへのアンケート調査の実施 平成26年12月 パブリックコメント実施 募集期間 平成26年12月1日~平成27年1月5日(36日間) 実施結果 意見提出 2名 12件,原案修正はなし ※パブリックコメント実施時に平成26年9月末時点での暫定値で記載した 数値について、報酬改定等を反映させた最終の推計値へ修正 ※パブリックコメント実施以降に公表された公費による軽減強化などの制 度改正に関する事項等について修正 3 今後の予定 パブリックコメント実施結果を本庁舎1階情報コーナー, 高齢福祉課, 各 窓口センター、各地域交流センター、市ホームページ及び広報つくば(4月 号) において公表する。 なお、この計画中に記載する介護保険料額については、保険料の改定につ くば市介護保険条例の改正が必要なため、3月定例会に条例改正についての 議案を上程予定であり、条例可決後、保険料を追記したものをパブリックコ メント実施結果と同様に公表する。

No. 3 (様式2)

(可) 公 開 否 公開時期(1)庁議後の記者会見 2 (

平成27年2月27日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名 福祉部 こども課

付議区分 審議 付議事項 「つくば市子ども・子育て支援プラン」の策定について 事案要旨 1 趣旨 つくば市子ども・子育て支援プランは、子どもの育ちと子育ての環境の変 化に対して、国において制定された「子ども・子育て支援法」に基づき、子 ども・子育てにかかわる事業を総合的、計画的に実現していくものである。 期間は平成27年度から平成31年度までの5年間とし、子ども・子育て支援法 第61条を根拠とする「つくば市子ども・子育て支援事業計画」及び次世代育 成対策支援推進法第8条第1項を根拠とする行動計画を一体的に策定する。 2 策定の経過 平成25年10月~平成27年1月 つくば市子ども・子育て会議の開催(8回) 平成25年11月 就学前及び就学児童の保護者へのアンケート調査の実施 平成26年12月 パブリックコメント実施 募集期間 平成26年12月1日~平成27年1月5日 (36日間) 実施結果 意見提出 6名 14件, 原案修正はなし 3 今後の予定 本庁舎1階情報コーナー、こども課、各窓口センター、各地域交流センタ ー, 市ホーム ページ及び広報つくば(4月号)において、パブリックコメ ント実施結果及び本計画を公表する。

公 開 可 · 否 公開時期 ① 庁議後の記者会見 2()

平成27年2月27日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名

経済部 農業課

付議区分	審議		任(月中) 辰未味					
付議事項	「つくば市農業基本計画」の策定について							
事案要旨	PP問題など すべき方向性 な指針との経過 平成25年8 平成26年7 平成26年1 募集期間 実施結果 3 今後の予定 本庁舎1階 ー,市ホーム	での社会情勢の変化に対応する。 でその実現方策を明確にしている。 「つくば市農業基本計画」 の	アンケート調査を実施 市農業基本計画策定委員会の開催 回) 施 27年1月5日 (36日間)					

 公 開
 可 ・ 否

 公開時期(1)庁議後の記者会見 2()

平成27年2月27日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名国際戦略総合特区推進部

科学技術振興課 予 定 付議区分 付議事項 第4回科学の甲子園全国大会の開催について 事案要旨 1 趣旨 全国の高校生が学校対抗で科学の力を競う「第4回科学の甲子園全国大 会」を3月20日(金)から23日(月)にかけてつくば国際会議場及びつくば カピオで開催する。 2 主催 独立行政法人 科学技術振興機構(JST) 3 共催 茨城県、茨城県教育委員会、つくば市、高等学校文化連盟全国自然科学専 門部 4 スケジュール 3月20日(金) 開会式 21日(土) 筆記競技, 実技競技 22日(日) 実技競技、エキシビション、特別シンポジウム (天野 浩名古屋大学教授ほか), 表彰式 23日(月) 市内研究機関等へのエクスカーション(施設見学) ※筆記競技・エクスカーションを除いて一般の観覧可能 筆記競技・特別シンポジウムを除いて取材可能(特別シンポジウム終了 後のみ撮影可) 5 出場チーム 各都道府県代表 47チーム約370人(1チーム6~8人) 茨城県代表 水戸第一高等学校(県予選出場校 15校 50チーム 295名) 特別枠 県立並木中等教育学校(第2回科学の甲子園ジュニア全国大会優勝校) 6 つくば開催ならではの取組 県・市が協力し、以下の取組を行うことにより、大会を一層盛り上げる。 ・市内研究機関(産総研、JAXA、筑波大学など)へのエクスカーション ・セグウェイによる案内誘導(つくば駅⇔つくば国際会議場),セグウ エイ試乗体験 ・ロボットスーツHAL操作体験 ・市内研究機関等のおみやげ販売(ブース出展)

 公 開
 可 ・ 否

 公開時期(1) 庁議後の記者会見 2()

平成27年2月27日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名

国際戦略総合特区推進部

科学技術振興課

付議区分	予定
付議事項	科学モニュメント整備事業完成記念式典の開催について
事案要旨	 1 概要 当事業は、つくば市にゆかりのあるノーベル賞受賞者のモニュメントや 次世代を担う青少年に向けた科学者等からのメッセージなどに触れること ができる憩いの場として中央公園に整備した。 2 日時 平成27年3月15日(日)11:00~12:00 3 場所 中央公園(芝生広場) 4 出席者 江崎玲於奈・小林誠博士ほか(約30名) 5 スケジュール ・主催者挨拶(市原市長) ・来賓祝辞(筑波大学永田学長、江崎玲於奈博士、小林誠博士) ・概要説明 ・マーチングバンド演奏(吾妻小学校金管バンド吾妻ニュー・ブラス) ・テープカット ・除幕及び内容説明など

公 開 可 · 否 公開時期 (1) が議後の記者会見 2()

平成27年2月27日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名

市民部 男女共同参画室 付議区分 予 定 窓口手続きのための一時預かり保育室の開設について 付議事項 事案要旨 1 趣旨 3月下旬からの転出入の増加等に伴い、お子様連れで来庁する市民に対し て、サービスの向上を図ることを目的に無料で一時預かり保育を実施する。 また、お子様連れの方が利用できる休憩室としても活用する。 2 日時 平成27年3月25日(水)~4月1日(水)10:00~13:00(土日を除く) 3 場所 2階防災会議室3 4 実施方法 (1)対象児は1歳6カ月~6歳(未就学児)で、社会福祉協議会保育サポータ -2名及び男女共同参画室職員1名の計3名で一時預かりを担当する。 (2)事前予約制で、空きがあれば当日の申込みも受け付ける。 ※昨年実績 10日間で23件(保育者数33人) (3)預かり時間は基本一人1時間とし、①10:00~11:00 ②11:00~12:00 ③12:00~13:00の時間帯に分け、各時間帯2名程度とする。延長も可能 で、当日申込みの場合の預かり時間については相談に応じる。 (4)保護者と乳幼児が一緒に休憩できるスペースとしての利用にも対応する。 5 周知方法 広報つくば、ホームページ、区会回覧等

平成27年2月27日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名 市民部 国際・文化課

付議区分	予定・プロストラー・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド
	「第1回つくばメディアアートフェスティバル」及び「第2回つくばショー
付議事項	トムービーコンペティション つくッペ 一上映会一」の開催について
事案要旨	第1回つくばメディアアートフェスティバル 1 科学と芸術が融合した新たな芸術分野であるメディアアートを、筑波大学(工学・芸術連携リサーチュニット)の協力のもと紹介する。 ※詳細はチラシ参照 2 3月14日(土)~22日(日)9:30~17:00 3 茨城県つくば美術館及びアルスホール 4 内容 ○作品展示(美術館) インタラクティブアート(見るだけでなく、人の動作にセンサーが反応したり、タッチパネルの入力など観客が働きかけることで完成する作品)や、映像作品を中心に紹介。 ○明和電機のワークショップ&ライブ(アルスホール)アーティストグループ「明和電機」の音楽ライブ及びワークショップ。併せて明和電機が開発した楽器等の展示。 5 スケジュール 14日(土)10:00~ プレスカンファレンス 11:00~ オープニング・セレモニー/市長挨拶ほか 15日(日)10:00~ 明和電機ワークショップ 14:00~ 同ライブ 第2回つくばショートムービーコンペティション つくッペー上映会ー 1 10分末満の短編映像作品を自由部門、つくば部門の2部門に分けて募集し、一次審査(同実行委員会で事前審査済み)を通過した10作品をノミネート作品として上映・審査する。特別審査員は中村義洋映画監督。観客にも投票していただく参加型イベント。 ※詳細はチラシ参照 2 3月21日(土)13:30~16:10 3 会場 つくば西武ホール(西武筑波店6階) 4 応募状況 自由部門:68作品 つくば部門:3作品 5 スケジュール 13:30~15:00 [第1部]作品上映 15:15~15:50 [第2部]中村義洋監督トークセッション等 15:55~16:10 表彰式
I	

公 開 可 · 否 公開時期(1)庁議後の記者会見 2()

平成27年2月27日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名 環境生活部 環境保全課

付議区分 予 定 付議事項 つくば市環境美化フォーラム(煌めくいい街をめざして)の開催について 事案要旨 1 趣 旨 魅力あるまちづくりを環境美化の観点から推進し、市民等のまち美化に対 する意識の向上を図ることを目的に、つくば市環境美化フォーラムを開催す る。 2 日 時 平成27年3月14日(土) 開演15:00~ (開場14:30) 3 会場 つくば国際会議場 大ホール (入場無料) 4 内容 第1部 活動発表 つくば市立つくば茎崎学園 茎崎中学校 テーマ「ふるさとつくば~私たちにできることは?~」 つくば市立輝翔学園 谷田部中学校、谷田部小学校、谷田部南小学校、柳橋小学校 テーマ「私たちが守るつくばの未来~地球人として私たちにで きること~」 第2部 特別講演 杉本 彩 氏 「今わたしたちにできること」 第3部 つくば市きれいなまちづくり実行委員会活動報告 5 主催 つくば市きれいなまちづくり実行委員会 (つくば市、株式会社ライトオン、一般財団法人つくば青年会議所等) ※ 大ホール入口前に、つくば市環境生活部PRブースを設営。

 公 開 可 ・ 否

 公開時期 1庁議後の記者会見 2()

平成27年2月27日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名

環境生活部 危機管理課 国際戦略総合特区推進部 科学技術振興課ジオパーク推進室

付議区分	予 定
付議事項	防災講演会「大地を知り、災害に備えよ!」〜ジオパーク防災編〜について
事案要旨	1 目的 近年、大雨や台風などによる土砂災害、浸水害等が多く発生し、つくば市においても、筑波山地域、小貝川・桜川地域は、土砂災害や浸水害の警戒区域となっている。そこで、自分が住んでいる地域の地形や過去の災害を知り、今後起こりうる災害へ備えていただく一助とする。 2 日時 平成27年3月1日(目)13時30分~15時30分 3 場所 イーアスつくば 2階 イーアスホール 4 定員 200名(事前申込 ※当日受付も可) 参加費無料 5 講師 水谷 武司(みずたに たけし)氏 独立行政法人防災科学技術研究所客員研究員 元千葉大学理学部地球科学科教授 6 主な講演内容 ・茨城県南地域の土地の生い立ちと自然災害 ・筑波山地域の地形・地質と土砂災害 ・小貝川、桜川、霞ヶ浦の治水と洪水の歴史 ・災害時の避難の必要性・緊急性 ・ハザードマップをどう役立てるか など ・筑波山地域ジオパークを目指して(ジオパーク推進室) ・つくば市の防災事業について(危機管理課)

公 開 可 · 否 公開時期 (1 庁議後の記者会見 2 ()

平成27年2月27日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名

消防本部 消防総務課 付議区分 予 定 「消防本部・中央消防署新庁舎」開庁式典の開催について 付議事項 事案要旨 1 概要 つくば市民の安全・安心を確保する防災拠点として、安全性及び機能性 を有した消防庁舎を、大規模災害発生時にも行政機能(市役所)と迅速な 初動体制の連携ができる市役所同一敷地内に整備した。 2 日時 平成27年3月26日 (木) 13:30~15:00 ※新消防庁舎の業務開始日 平成27年3月16日(月) 8:30~ 3 出席者等 主催者 市長,副市長,教育長 招待者(約60名) 地元選出県議会議員、つくば市議会議員、日本自動車研究所、 つくば中央警察署, つくば北警察署, つくば市消防団, 工事関係者 4 内容 ・式典(3階多目的ホール) ・テープカット(消防車両車庫棟前) ・ 救助隊による訓練展示 (訓練塔) • 庁舎内覧会 5 その他 ・今年度更新した北消防署配備の特殊消防ポンプ自動車(1台)及び 消防団配備の消防ポンプ自動車(2台)を正面玄関前に展示

(可) 開 否 公開時期(1) 議後の記者会見 2 (

平成27年2月27日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名

企画部 行政経営課

報告 付議区分 平成26年度第2回職員提案等の審査結果について 付議事項 事案要旨 1 趣旨・目的 職員提案制度は、政策や行政サービス向上の提案及び業務改善結果等の報 告を職員に求め、これらを積極的に行政運営に活用し、市政の更なる発展と 職員の意識改革及び士気の高揚を図ることを目的として実施している。 職員提案制度等実施要項に基づき、「事務事業提案」、「身近な提案」、 「業務改善報告」について審査を実施し、以下のとおり表彰を決定した。 2 提出件数 (1) 事務事業提案 19件 (16人) (2) 身近な提案 17件(18人) (3) 業務改善報告 1件(1部署) 3 入賞 4件(詳細は別紙のとおり) (1) 事務事業提案 ○努力賞 2件 ·上下水道部水道総務課 主任参事(兼)課長 耒栖 武 · 市民部市民課 課長 松本 三枝子 (2) 身近な提案 ○奨励賞 2件 ・市民部国際・文化課 主任 稲毛田 千穂 ・匿名 ※今回、身近な提案については、匿名での提案を可能とした。

公開可・ 否公開時期(1) 旅議後の記者会見 2()

平成27年2月27日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名

環境生活部 環境保全課

付議区分	報告		然先上i口印	
付議事項	空間放射線量	量率の測定結果について		
事案要旨	を受けたが、 査等を継続し 今回、市内 たので、調査 ※調査結果 前回 調査で が全て無くない れた。 ※詳細は別 3 その他	その後も市独自の取り組み こている。 内全域の空間放射線量率調査 を結果を報告する。 成や調査方法など,詳細は別 では25カ所あった毎時0.15マ なり,市内の空間放射線量率 川紙資料を参照。 で結果及び空間放射線量率マ	ら「除染措置完了市町村」の認定 なとして、市内の空間放射線量率調 (第4回汚染状況調査)を実施し 紙資料を参照。 イクロシーベルト以上のメッシュ が更に低下している状況が確認さ	

(可) 開 否 公開時期(1)庁議後の記者会見 2(

平成27年2月27日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名 環境生活部 危機管理課

付議区分 報告

「高齢者反射材ペったん運動」の実施について 付議事項

事案要旨

1 目的

人身交通事故の多くが、薄暮時から夜間にかけて発生している。また、 犠牲者の多くが65歳以上の高齢者である。このことから、高齢者に対し反射 材着用の推進を図ることとした。

(交通白書) 時間帯ごとの人身交通事故発生件数 (件)

		全体	0~3	3~6	6~9	9~12	12~15	15~18	18~21	21~24
平成	茨城県	14, 732	268	275	2, 942	2, 456	2, 359	3, 200	2, 481	751
24年	つくば市	1, 110	12	12	220	170	192	214	221	69
平成	茨城県	13, 279	262	231	2, 483	2, 317	2, 170	2, 858	2, 186	772
25年	つくば市	1, 027	19	14	192	161	179	229	172	61

(交通白書) 交通事故死者数と65歳以上の高齢者が占める割合

		全体	高齢者	割合
平成24年	茨城県	142人	68人	47. 9%
十八八八十十	つくば市	8人	4人	50.0%
平成25年	茨城県	163人	103人	63. 2%
十八23千	つくば市	14人	12人	85. 7%

2 内容

キャンペーンなどで反射材を配布するだけでは、着用率が向上しない。 そこで、高齢者が集まる病院やスーパー等で、交通安全教育指導員が、靴 に反射シールを貼り付ける「高齢者反射材ペったん運動」を実施した。

3 実績

別添資料のとおり